

キャッシュカード 新たな標的

県警は1〜3月に発生した振り込み詐欺などの特殊詐欺の被害状況をまとめた。金融機関の窓口対策などで被害金額は減っているが、認知件数は増加。犯行の手口も多様化しており、県警が引き続き注意を呼びかけている。

1〜3月の特殊詐欺

生活安全企画課によると、被害金額は前年同期より約3400万円少ない約4億260万円だった。一方の認知件数は増え、未遂を含めて257件と、前年よりも52件増えた。

手口でみると、息子などをかたる「オレオレ詐欺」が未遂を含め148件。被害金額も約2億4500万円、もっとも多かった。

警察官や銀行員をかたり、「あなたの口座が悪用されている」「新しいキャッシュカードを用意する」などところを言い、キャッシュカードをだまし取り、金を引き出す手口も増えている。同様の被害は3月末までに15件、4月も引き続き発生しているという。

他にも大手百貨店の社員など比較的信頼されやすい人物をかたる手口も目立つという。担当者は「現金よりもキャッシュカードの方が怪しまれず、だまし取りやすいのでは」と見る。

他には「医療費が戻ってくる」な

警官・銀行員・百貨店員装う



振り込み詐欺防止に「役者」FPレンジャー 4月28日、県警本部

ところを言っただます「還付金等詐欺」が64件で被害金額が約7400万円、有料サイトのうその未納金などを請求する「架空請求詐欺」が40件（いずれも未遂を含む）で同約8200万円だった。

県警は県内のショッピングモールなどで「特殊詐欺被害防止キャンペーン

など」を開催。警察官が特殊詐欺の犯人になりきり、参加者がオレオレ詐欺の電話を体験するコーナーを開いたりするほか、防犯を啓発するチラシなどを配布する。県警は今後も同様のイベントなどを通じて防犯を呼びかけていくという。

(笠原真)

これまでの啓発活動は高齢者が対象だったが、若い世代に向けて、人気があるFPレンジャーに協力を求めた。FPレンジャーは幼稚園などで子どもたちにお金の大切さを伝えてきた。大宮駅や浦和駅で、振り込み詐欺被害防止のキャンペーンもしてきたという。同センターの佐田隆代表理事は「子どもが犯罪と気づかず詐欺に加担してしまうケースもある。それを予防できるショーも考えたい」と、中学生への働きかけも検討中だという。(平野尚紀)

「俺たちが許さない」

「振り込み詐欺」は、俺たちが許さない。相次ぐ被害を減らすため、県警は啓発活動を、ご当地ヒーロー「家計お助け隊FPレンジャー」にも担ってもらうことにした。ショーなどを通じ、振り込み詐欺の予防に取り組む。FPレンジャーは、県知事が任命する「埼玉ご当地ヒーローズ」の一つ。県警が4月28日、FPレンジャーをキャラクターに持つ「FP協働サポートセンター」に、詐欺被害防止の協力事業者の指定書を交付した。県警によると、

ツデーマーチに 今年も笑顔集まれ

所沢で飯能市長らPR

27、28両日に飯能市などを歩く「第15回飯能新緑ツデーマーチ」(飯能市、日本ウォーキング協会、朝日新聞社など主催、三井住友信託銀行特別協賛)に向け1日、大久保・飯能市長らが、西武線所沢駅改札前で緑色のジャケット姿で乗降客らにチラシ約1500枚を配り、参加を呼びかけた。

2日間で、昨年と同じ530キロの計10コース。初日はお笑い芸人DJダイノジらが、2日目は1980年代にテレビドラマ「スクール・ウォーズ」や「スチュワーズ物語」の主題歌が大ヒットした歌手麻倉未稀さんがゲストに登場する。事前申し込みは15日までで、2日間参加でき1500

自動車税期限内納付でお得

協賛店は7企業260

期き



K

0円、当日限りで1千の一部は東本地震の義務局(電話・6082日午前8時分)。



久保田徹・所端と共利配る大久保勝央 同駅改

レンタルボックス 貸地・空地・空駐車場など